社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和03年11月26日

計画の名称	豊かな環境に出会えるまち　くまがや（その２）												
計画の期間	平成２７年度　～　平成３１年度　(5年間)									重点配分対象の該当			
交付対象	熊谷市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	1,914	A	1,914	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H27当初）	（H29末）	（H31末）
1	下水道による汚水整備達成率を81.7%（H27）から85.8%（H31）に増加させる。			
	下水道による汚水整備達成率 汚水整備済面積（ｈａ）／汚水対策を実施すべき面積2,158.1ｈａ	82%	84%	86%
2	下水道による雨水整備達成率を58.9%（H27）から59.2%（H31）に増加させる。			
	下水道による雨水整備達成率 雨水整備完了済み面積（ｈａ）／雨水整備を実施すべき面積1,186.4ｈａ	59%	59%	59%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000341174

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H27	H28	H29	H30	H31	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	熊谷市	直接	熊谷市	管渠（汚水）	新設	元荒川処理分区整備事業	管渠整備　A＝55.1ha	熊谷市	■	■	■	■	■	1,028		－
	A07-002	下水道	一般	熊谷市	直接	熊谷市	管渠（汚水）	新設	熊谷処理分区整備事業	管渠整備　A＝17.3ha	熊谷市	■	■	■	■	■	305		－
	A07-003	下水道	一般	熊谷市	直接	熊谷市	管渠（汚水）	新設	妻沼処理区整備事業	管渠整備　A＝16.6ha	熊谷市		■	■	■	■	211		－
	A07-004	下水道	一般	熊谷市	直接	熊谷市	管渠（雨水）	新設	別府排水区整備事業	管渠整備　A＝2.9ha	熊谷市	■	■	■	■	■	370		－
											小計						1,914		
											合計						1,914		

案件番号：　0000341174

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
学識経験者等の第三者から構成される熊谷市公共下水道事業運営審議会において、事業効果及び数値目標の達成状況について意見を求めた。	令和３年１１月
	公表の方法 熊谷市ホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	汚水整備については、数値目標が達成できなかったものの概ね目的は達成できた。公共下水道整備が完了した地区では排水設備の設置が順次進み、生活環境の向上が図られている。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

上位計画である熊谷市生活排水処理基本計画に基づき、目標達成に向け今後も継続的に公共下水道整備の進捗を図る。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	汚水整備済面積(ha)／汚水対策を実施すべき面積 2,158.1ha		
	最　終 目標値	86%	幹線管渠の整備を重点的に実施したことから、面整備が想定ほど進まなかったため。
	最　終 実績値	85%	
2	雨水整備完了済み面積(ha)／雨水対策を実施すべき面積 1,186.4ha		
	最　終 目標値	59%	
	最　終 実績値	59%	

案件番号：0000341174